

平成29年度

公 営 企 業 会 計
決 算 審 査 意 見 書

南アルプス市監査委員

南ア監第8-6号
平成30年8月22日

南アルプス市企業局
市長 金丸一元 様

南アルプス市監査委員 望月健二
同 小池康郎
同 花輪進

平成29年度公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、平成29年度南アルプス市水道事業会計及び南アルプス市自動車運送事業会計決算書並びに決算附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

目 次

1. 審査の対象	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の方法	1
4. 審査の結果	1
5. 審査の概要と意見	
(1) 南アルプス市水道事業会計	2
(2) 南アルプス市自動車運送事業会計	8

平成 29 年度公営企業会計決算審査意見

1. 審査の対象

平成 29 年度南アルプス市水道事業会計決算
平成 29 年度南アルプス市自動車運送事業会計決算

2. 審査の期間

平成 30 年 7 月 13 日

3. 審査の方法

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、平成 29 年度南アルプス市水道事業会計及び南アルプス市自動車運送事業会計の決算については、その事業が地方公営企業法、その他の関係法令に基づいて常に経済性を発揮し、本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営されているか、決算書類が経営成績及び財政状況を適正に表示しているかどうかを検証するため、決算書、決算附属書類、諸帳簿及び証拠書類等について照合を行い、関係職員から状況を聴取し審査した。

4. 審査の結果

審査に付された決算書、財務諸表及び附属書類は、いずれも地方公営企業法、その他の関係法令に準拠して作成されており、平成 29 年度における経営成績及び財政状況は適正に表示されているものと認められた。

また、諸帳簿及び証拠書類等と照合した結果、計数も正確で、いずれも符合していると認められた。

5. 審査の概要と意見

(1)南アルプス市水道事業会計

業務実績

水道事業の概要

区 分	単位	平成29年度	平成28年度	対前年差引	対前年比
年度末給水人口	人	71,262	71,386	△ 124	99.8
年度末給水区域内人口	人	71,578	71,708	△ 130	99.8
普及率	%	99.56	99.55	0.01	—
年度末給水戸数	戸	27,829	27,601	228	100.8
年間配水量	m ³	10,161,550	10,025,210	136,340	101.4
年間有収水量	m ³	7,928,444	7,939,490	△ 11,046	99.9
一日平均有収水量	m ³	21,722	21,752	△ 30	99.9
有収率	%	78.02	79.20	△ 1.18	—
年度末職員数	人	32	32	0	100.0
供給単価	円	138.17	128.88	9.29	107.2
給水原価	円	131.16	131.74	△ 0.58	99.6
一日最大配水能力 (A)	m ³ /日	45,200	47,140	△ 1,940	95.9
一日最大配水量 (B)	m ³	32,396	30,624	1,772	105.8
一日平均配水量 (C)	m ³	27,840	27,466	374	101.4
負荷率 (C/B)	%	85.94	89.69	△ 3.75	—
施設利用率 (C/A)	%	61.59	58.26	3.33	—
最大稼働率 (B/A)	%	71.67	64.96	6.71	—

平成29年度末の給水状況は、給水戸数27,829戸、給水人口は、71,262人で、前年度と比較すると、給水戸数は、228戸(0.8%)の増、給水人口は、124人(0.2%)の減であった。

水道利用状況は、総配水量10,161,550m³、有収水量7,928,444m³で前年度に比べ総配水量が136,340m³(1.4%)の増、有収水量が11,046m³(0.1%)の減となっている。

また、有収率は、78.0%で、前年度と比べて1.18ポイント減少した。

給水収益を有収水量で除した供給単価は、138円17銭で前年度に比べて9円29銭高く、給水原価は、131円16銭で前年度に比べ58銭安くなった。

負荷率、施設利用率は高いほど効率的であるが、平成29年度は、負荷率が3.8%減少した。

一方、最大稼働率は、数値が高いほど施設の効率性は高いといえるが、100%に近い場合には、配水能力に余裕がなく安定給水という観点からは問題となる。

本年度の最大稼働率は、71.7%で、昨年度に比べ、6.7ポイント上昇した。

収益的収支

損益計算書

(単位:円,%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
水道事業収益	1,297,088,899	1,225,919,312	71,169,587	5.8
水道事業費用	1,121,033,471	1,119,358,944	1,674,527	0.2
当年度純利益	176,055,428	106,560,368	69,495,060	65.2

平成29年度の水道事業収益は、1,297,089千円で、前年度に比べ71,170千円、5.8%増加した。

また、水道事業費用が前年度に比べ、1,675千円、0.2%増加し、純利益は前年度に比べ69,495千円、65.2%の増加となった。

予算額に対する収支状況は、次のとおりである。

(収益的収入)

(単位:円,%)

科目	平成29年度			平成28年度	増減額	増減率
	予算現額	決算額	対予算現額 収入率	決算額		
水道事業収益	1,339,989,000	1,387,353,124	103.5	1,312,170,959	75,182,165	5.7
営業収益	1,224,798,000	1,266,938,055	103.4	1,186,400,630	80,537,425	6.8
営業外収益	115,191,000	116,928,694	101.5	125,770,329	△ 8,841,635	△ 7.0
特別利益	0	3,486,375	—	0	3,486,375	皆増

※消費税含む

(収益的支出)

(単位:円,%)

科目	平成29年度					平成28年度	増減額	増減率
	予算現額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	決算額		
水道事業費用	1,181,131,000	1,171,040,428	0	10,090,572	99.2	1,182,168,817	△ 11,128,389	△ 0.9
営業費用	1,062,647,000	1,041,115,088	0	21,531,912	98.0	1,036,545,229	4,569,859	0.4
営業外費用	116,484,000	129,093,373	0	△ 12,609,373	110.8	144,648,390	△ 15,555,017	△ 10.8
特別損失	1,000,000	831,967	0	168,033	83.2	975,198	△ 143,231	△ 14.7
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	0	0	—

※消費税含む

資本的収支

平成29年度における決算額は、資本的収入475,439千円に対し、資本的支出は、1,031,383千円になった。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額555,945千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額52,764千円、当年度分損益勘定留保資金420,080千円、及び減債積立金83,101千円で補てんした。

資本的収支決算の状況は、次のとおりである。

(資本的収入)

(単位:円,%)

科目	平成29年度			平成28年度	増減額	増減率
	予算現額	決算額	対予算現額収入率	決算額		
資本的収入	526,235,840	475,438,854	90.4	180,955,944	294,482,910	162.7
企業債	330,900,000	295,900,000	89.4	93,000,000	202,900,000	218.2
工事負担金	119,302,840	102,354,549	85.8	52,375,680	49,978,869	95.4
出資金	22,843,000	15,698,000	68.7	0	15,698,000	皆増
補助金	53,190,000	60,269,000	113.3	34,710,000	25,559,000	73.6
固定資産売却代金	0	1,217,305	—	870,264	347,041	39.9

※消費税含む

資本的収入の増加の要因は、駒場浄水場系管路更新工事7本の発注により、企業債、工事負担金及び補助金によるもの、また、出資金の増加の要因は、総務省の地方公営企業繰出基準に基づく、上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るための出資に要する経費によるものである。

(資本的支出)

(単位:円,%)

科目	平成29年度					平成28年度	増減額	増減率
	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率	決算額		
資本的支出	1,166,517,600	1,031,383,493	33,276,520	101,857,587	88.4	671,856,819	359,526,674	53.5
建設改良費	915,901,600	780,767,807	33,276,520	101,857,273	85.3	408,006,308	372,761,499	91.4
企業債償還金	250,616,000	250,615,686	0	314	100.0	263,850,511	△ 13,234,825	△ 5.0

※消費税含む

建設改良工事は、水源・配水池の施設関連で、上宮地第1配水池更新工事(1本)の他、機械及び器具等の更新に伴う取替工事等(4本)を実施した。また、管路関連では、老朽管の布設替工事(10本)、公共下水道事業(20本)、畑かん更新事業(2本)及び道路改良工事(2本)に伴い、水道管布設替工事を実施した。今年度の水道管布設総延長は、新設6,927m、布設替3,638m、計10,565mとなり、解消された石綿管は967mで、残延長は24,210mとなった。

財務内容

財務状況は、次のとおりである。

資産合計

(単位:円,%)

科 目	平成29年度		平成28年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
固定資産	13,857,009,742	88.8	13,626,056,787	89.4	230,952,955	1.7
流動資産	1,739,917,286	11.2	1,616,708,338	10.6	123,208,948	7.6
資産合計	15,596,927,028	100.0	15,242,765,125	100.0	354,161,903	2.3

平成29年度の資産合計は、15,596,927千円で、前年度比354,162千円(2.3%)増加した。

固定資産の増加した要因は、老朽管更新事業、在家塚交差点改良工事に伴う配水管布設替工事及び公共下水道事業に伴う配水管布設補償工事の完了によるものである。

流動資産の増の主な要因は、下水道工事負担金及び未収水道料金の増加によるものである。

負債・資本

(単位:円,%)

科 目	平成29年度		平成28年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
固定負債	4,604,697,670	29.5	4,596,751,161	30.2	7,946,509	0.2
流動負債	386,604,091	2.5	319,011,688	2.1	67,592,403	21.2
繰延収益	2,256,074,086	14.5	2,169,204,523	14.2	86,869,563	4.0
資本金	6,129,172,796	39.3	6,113,474,796	40.1	15,698,000	0.3
剰余金	2,220,378,385	14.2	2,044,322,957	13.4	176,055,428	8.6
負債資本合計	15,596,927,028	100.0	15,242,765,125	100.0	354,161,903	2.3

各項目の増減については、以下のものが主な要因となっている。

固定負債は、建設改良等の財源となる企業債が、前年度比33,158千円(0.8%)増加している。

流動負債は、未払金が前年度比49,387千円(101.5%)増加している。

繰延収益は、長期前受金が前年度比162,624千円(5.2%)増加し、剰余金では、利益剰余金が176,055千円(8.6%)増加している。

経営内容

収益費用の内訳は、次のとおりである。

事業収入

(単位:円,%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
営業収益	1,175,110,262	1,100,067,688	75,042,574	6.8
給水収益	1,095,494,147	1,023,269,115	72,225,032	7.1
加入金	52,910,000	50,220,000	2,690,000	5.4
他会計負担金	8,646,120	4,144,320	4,501,800	108.6
その他営業収益	18,059,995	22,434,253	△ 4,374,258	△ 19.5
営業外収益	118,512,271	125,851,624	△ 7,339,353	△ 5.8
特別利益	3,466,366	0	3,466,366	皆増
計	1,297,088,899	1,225,919,312	71,169,587	5.8

営業収益は、前年度比で75,043千円(6.8%)増加し、営業外収益は7,339千円(5.8%)の減少となった。増加の要因は、平成28年10月検針分からの料金体系の見直しによる給水収益と加入金によるものである。

営業外収益の減少要因は、芦安浄水場膜ろ過施設建設工事の終了に伴う一般会計からの負担金の減によるものである。

事業費用

(単位:円,%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
営業費用	1,019,095,852	1,017,787,930	1,307,922	0.1
原水及び浄水費	204,873,147	188,126,913	16,746,234	8.9
配水費	38,680,665	74,331,629	△ 35,650,964	△ 48.0
給水費	59,665,392	45,877,930	13,787,462	30.1
受託工事費	7,789,000	3,729,000	4,060,000	108.9
業務費	85,309,884	81,893,255	3,416,629	4.2
総係費	125,583,110	129,652,409	△ 4,069,299	△ 3.1
減価償却費	493,362,736	489,071,318	4,291,418	0.9
資産減耗費	3,831,918	5,105,476	△ 1,273,558	△ 24.9
その他営業費用	0	0	0	—
営業外費用	101,164,750	100,666,734	498,016	0.5
支払利息	86,629,348	92,505,920	△ 5,876,572	△ 6.4
雑支出	14,535,402	8,160,814	6,374,588	78.1
特別損失	772,869	904,280	△ 131,411	△ 14.5
計	1,121,033,471	1,119,358,944	1,674,527	0.2

営業費用は、前年度比1,308千円(0.1%)増加した。要因としては、点検業務の内容を見直すなど経費の削減に努めたことまた、施設の老朽化に伴う修繕費等が増加した。

審査意見

平成29年度末の給水状況は、給水戸数27,829戸、給水人口71,262人で、対前年度比で給水戸数は228戸、0.8%の増、給水人口は124人、0.2%の減となった。

水道利用状況は、総配水量10,161,550 m^3 、有収水量7,928,444 m^3 で、対前年度比の総配水量は136,340 m^3 、1.4%の増、有収水量は11,046 m^3 、0.1%の減となった。このような状況から、無駄の無い水道水を確保するため、漏水調査を実施し、早期改善に努められたい。

経営状況は、営業収益が1,175,110千円で、対前年度比では75,043千円、6.8%の増、このうち給水収益は、平成28年10月検針分からの料金体系の見直しにより、1,095,494千円で、対前年度比は72,225千円、7.1%の増となった。

また、営業外収益は118,512千円で、対前年度比では7,339千円の減、特別利益は3,466千円で、対前年度比は3,466千円の増、総事業収入は1,297,089千円で、対前年度比は71,170千円、5.8%の増となった。

水道事業費用は、施設の老朽化に伴う修繕費等の増加により、総事業費は1,121,033千円で、対前年度比で1,675千円、0.2%の増となった。

水道事業における経営状況は、水道水の供給に必要な各施設及び管路の老朽化に伴う更新投資費用が増大している。

料金収入は、料金体系の見直しにより増加しているが、人口減少及び節水機器の普及等により使用水量が減少傾向にあり、今後、収益面、費用投資面の双方に厳しさが増してくる。現在、南アルプス市水道事業経営戦略の策定に着手しているが、時代の変化に対応した健全経営及び経営基盤の強化を図られたい。

(2)南アルプス市自動車運送事業会計

業務実績

平成17年度より自然環境保全のため、県営林道南アルプス線(夜叉神～広河原)及び県道南アルプス公園線(奈良田～広河原)の両線は、冬期通行止め解除後はマイカー規制となっている。このため、市営バス利用者は、民間の路線バスやタクシーまたは長野県伊那市営バスからの乗り継ぎ客である。

平成29年度の輸送人数は、大人30,290人、小人447人の合計30,737人であり、前年度と比較すると、1,433人(4.9%)増加した。手荷物品は29,182個を輸送し、延べ運行回数は2,174回であった。

6月23日から11月5日までの136日間をバス6台により1日4往復運行し、運賃は、広河原から北沢峠間の10.2kmを片道大人550円、小人280円、手荷物代200円で営業した。

輸送実績

(単位:人、個、回、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	前 年 度 比 較	
			増 減	増減率(%)
大 人	30,290	28,911	1,379	4.8
小 人	447	393	54	13.7
計	30,737	29,304	1,433	4.9
手荷物	29,182	27,650	1,532	5.5
運行回数	2,174	2,104	70	3.3

収益的収支

損益計算書

(単位:円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	増減率(%)
自動車運送事業収益	20,592,668	19,606,099	986,569	5.0
自動車運送事業費用	20,946,139	21,503,899	△ 557,760	△ 2.6
純 利 益	-	-	-	-
純 損 失	353,471	1,897,800	△ 1,544,329	△ 81.4

決算額は、収益的収入20,593千円、収益的支出20,946千円、当年度純損失353千円であった。

予算に対する収支状況は、次のとおりである。

(収益的収入)

(単位:円、%)

科目	区分	平成29年度			平成28年度	増減額	増減率
		予算額	決算額	対予算現額 収入率	決算額		
自動車運送事業 収益		24,013,000	22,231,208	92.6	21,164,303	1,066,905	5.0
営業収益		23,902,000	22,122,370	92.6	21,039,050	1,083,320	5.2
営業外収益		111,000	108,838	98.1	125,253	△ 16,415	△ 13.1

※消費税含む。

(収益的支出)

(単位:円、%)

科目	区分	平成29年度					平成28年度	増減額	増減率
		予算額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	決算額		
自動車運送事業 費用		23,916,000	22,432,389	0	1,483,611	93.8	23,062,103	△ 629,714	△ 2.7
営業費用		23,070,000	21,687,289	0	1,382,711	94.0	22,287,903	△ 600,614	△ 2.7
営業外費用		746,000	745,100	0	900	99.9	774,200	△ 29,100	△ 3.8
特別損失		0	0	0	0	0.0	0	0	0.0
予備費		100,000	0	0	100,000	0.0	0	0	0.0

※消費税含む。

資本的収支

平成29年度における決算額は、資本的収入0円に対し、資本的支出は、2,100千円になっている。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額2,100千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額152千円、過年度分損益勘定留保資金1,948千円で補填した。

(資本的収入)

(単位:円、%)

科目	区分	平成29年度			平成28年度	増減額	増減率
		予算額	決算額	対予算現額 収入率	決算額		
資本的収入		0	0	0	0	0	0.0

(資本的支出)

(単位:円、%)

科目	区分	平成29年度				平成28年度	増減額	増減率
		予算額	決算額	不用額	執行率	決算額		
資本的支出		2,485,000	2,099,570	0	84.5%	0	2,099,570	皆増

財務内容

財務状況は次のとおりである。

資産合計

(単位:円、%)

科目	平成29年度		平成28年度		比較増減	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
固定資産	6,072,440	12.1	4,134,284	8.3	1,938,156	46.9
流動資産	44,105,938	87.9	45,551,241	91.7	△ 1,445,303	△ 3.2
資産合計	50,178,378	100.0	49,685,525	100.0	492,853	1.0

負債・資本

(単位:円、%)

科目	平成29年度		平成28年度		比較増減	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
固定負債	3,504,723	7.0	2,907,723	5.8	597,000	20.5
流動負債	1,170,388	2.3	920,704	1.9	249,684	27.1
繰延収益	10,004	0.0	10,364	0.0	△ 360	△ 3.5
資本金	16,827,068	33.6	16,827,068	33.9	0	0.0
剰余金	28,666,195	57.1	29,019,666	58.4	△ 353,471	△ 1.2
負債資本合計	50,178,378	100.0	49,685,525	100.0	492,853	1.0

経営内容

収益的収支勘定で前年度と比較すると、9月の連休に晴天が続き、多くの利用者があったため、営業収益(運送収益)で、1,003千円(5.2%)、輸送人員30,737人で対前年比1,433人(4.9%)の増加となった。

収益費用の内訳は、次のとおりである。

事業収入

(単位:円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
営業収益	20,483,749	19,480,672	1,003,077	5.2
内 訳	運送収益	19,480,672	1,003,077	5.2
	その他の営業収益	0	0	-
営業外収益	108,919	125,427	△ 16,508	△ 13.2
内 訳	受取利息	1,314	△ 836	△ 63.6
	補助金	108,000	△ 1,000	△ 0.9
	長期前受金戻入	360	△ 14,579	△ 97.6
	雑収益	81	△ 93	△ 53.5
計	20,592,668	19,606,099	986,569	5.0

事業費用

(単位:円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率	
営業費用	20,946,139	21,503,875	△ 557,736	△ 2.6	
内 訳	運転費	16,958,679	329,978	2.0	
	車両修繕費	1,793,246	△ 407,775	△ 22.7	
	その他修繕費	0	84,400	△ 84,400	皆増
	減価償却費	9,124	△ 369,896	△ 97.6	
	保険料	566,485	△ 34,770	△ 5.8	
	運輸管理費	225,954	△ 83,931	△ 27.1	
	一般管理費	1,470,448	93,058	6.8	
	資産減耗費	0	0	-	
営業外費用	0	24	△ 24	皆減	
雑支出	0	24	△ 24	皆減	
特別損失	0	0	0	-	
その他特別損失	0	0	0	-	
計	20,946,139	21,503,899	△ 557,760	△ 2.6	

審査意見

平成29年9月は、晴天が続き、利用者が多く、過去最高だった平成27年度の32,966人を超すような勢いだったが、10月の秋雨前線や台風の接近等による大雨で天候不順が続き期待を裏切る結果で30,737人の利用となった。

より多くの時間を登山で楽しむことができるよう、昨年同様、早朝便として広河原発6時50分、北沢峠の最終便を30分遅らせ16時発にし利用者のニーズに応えている。

今後は、料金体系の見直しと併せ、ワンマンバスの構造要件を満たした車両の導入、事業者の高齢化対策を行い、利用者の利便性と安全性、更なる輸送サービスの向上を図り、南アルプス市自動車運送事業の安全対策の強化に取り組んでいくとともに、健全経営にも努力されたい。